

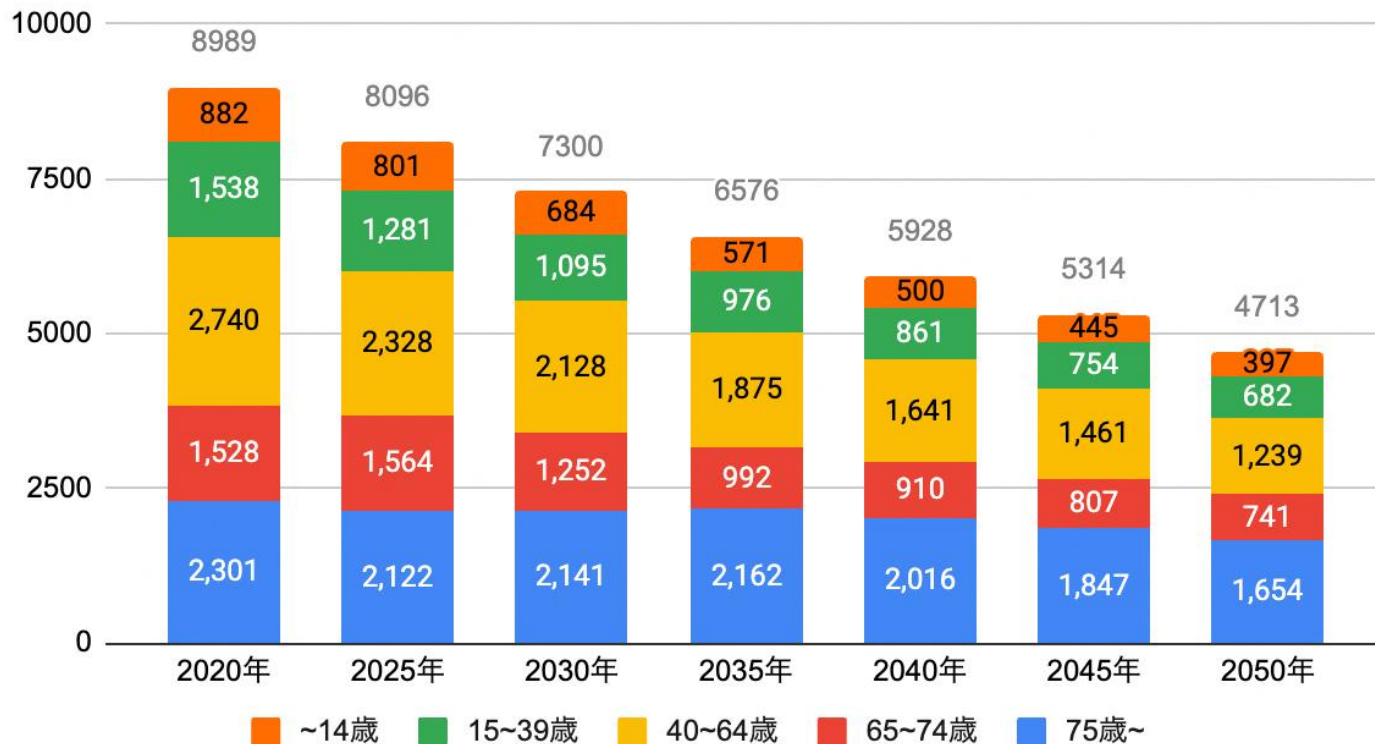
津南病院財務説明資料

2026年3月11日現在 内科医師 宮城禎弥

①津南町の医療・介護需要予測

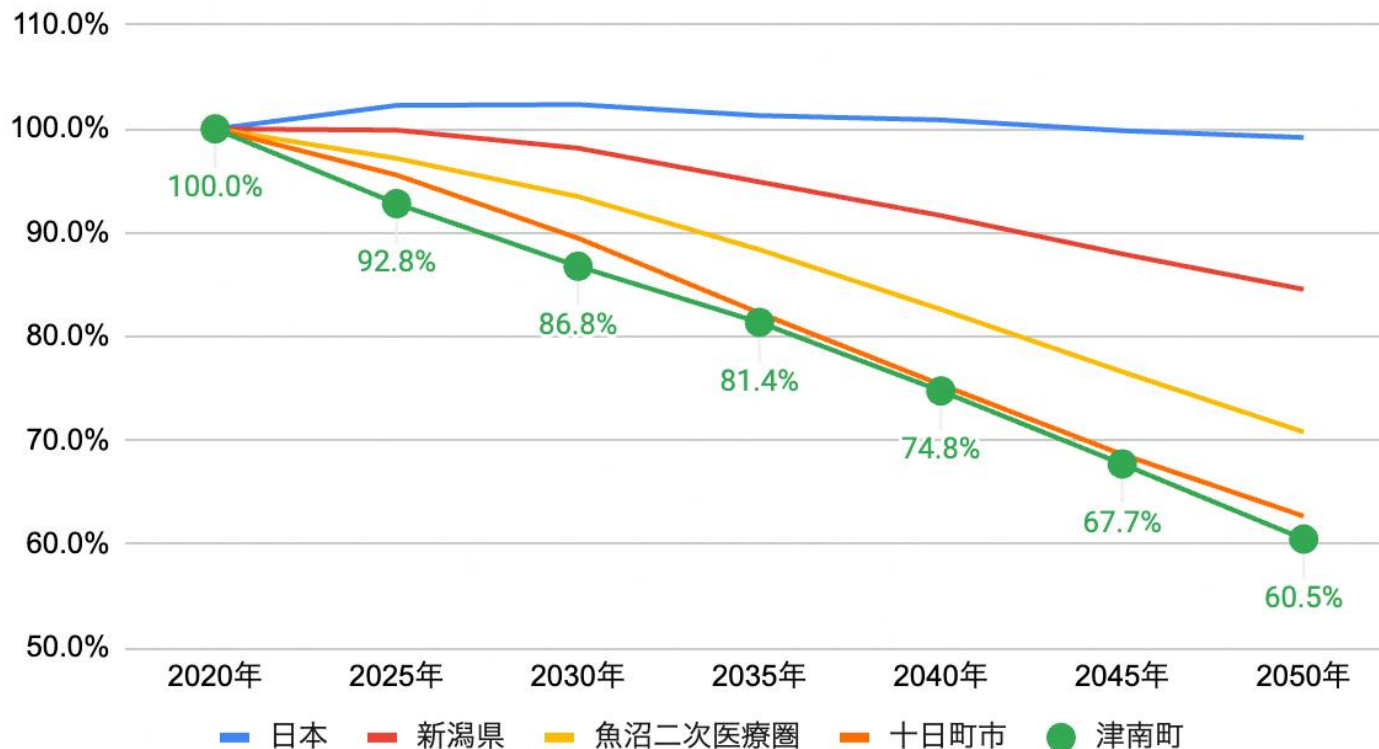
人口減少するが75歳以上人口は15年程度は維持される

津南町の世代別人口推移 (2020年国勢調査を元に推計)



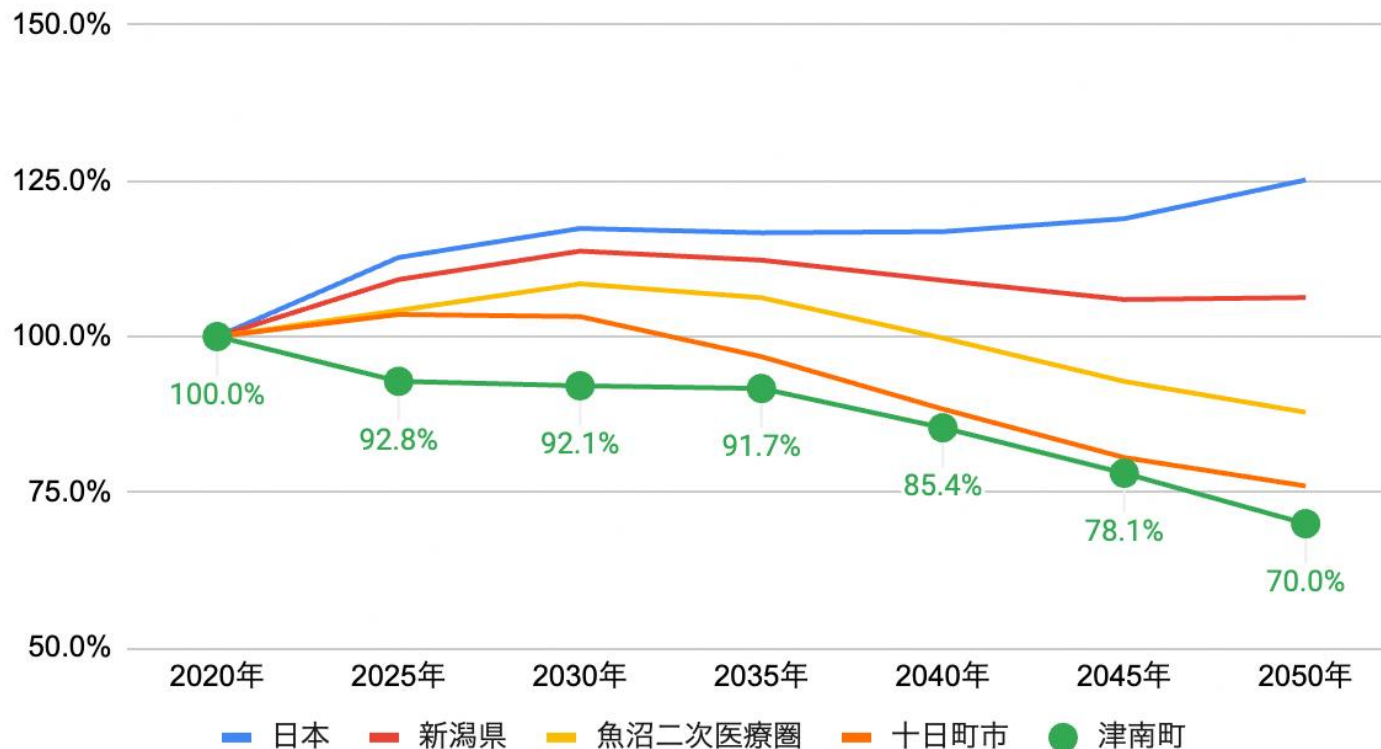
医療需要は県全体でみても減少し続ける

医療需要予測指数 (2020年を100%として)



介護需要は10年は横ばいである

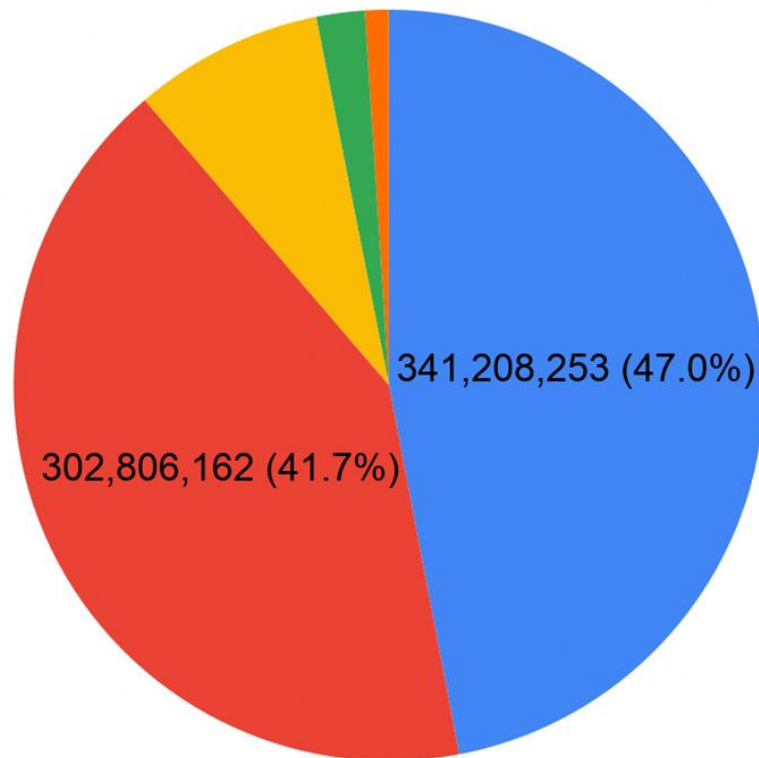
介護需要予測指数 (2020年を100%として)



② 病院の経営状態について

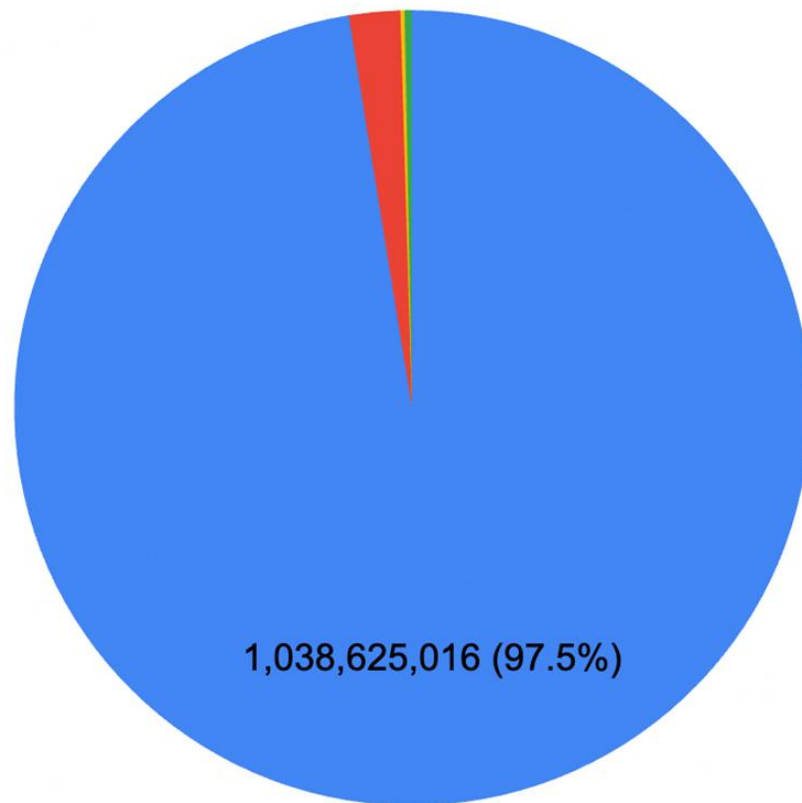
A. 収益の内訳 (2025年度1月末時点) 合計 7億2589万6731円

- 入院収益
- 外来収益
- その他医業収益
- 訪問看護収益
- 介護保険収益
- 居宅介護支援収益

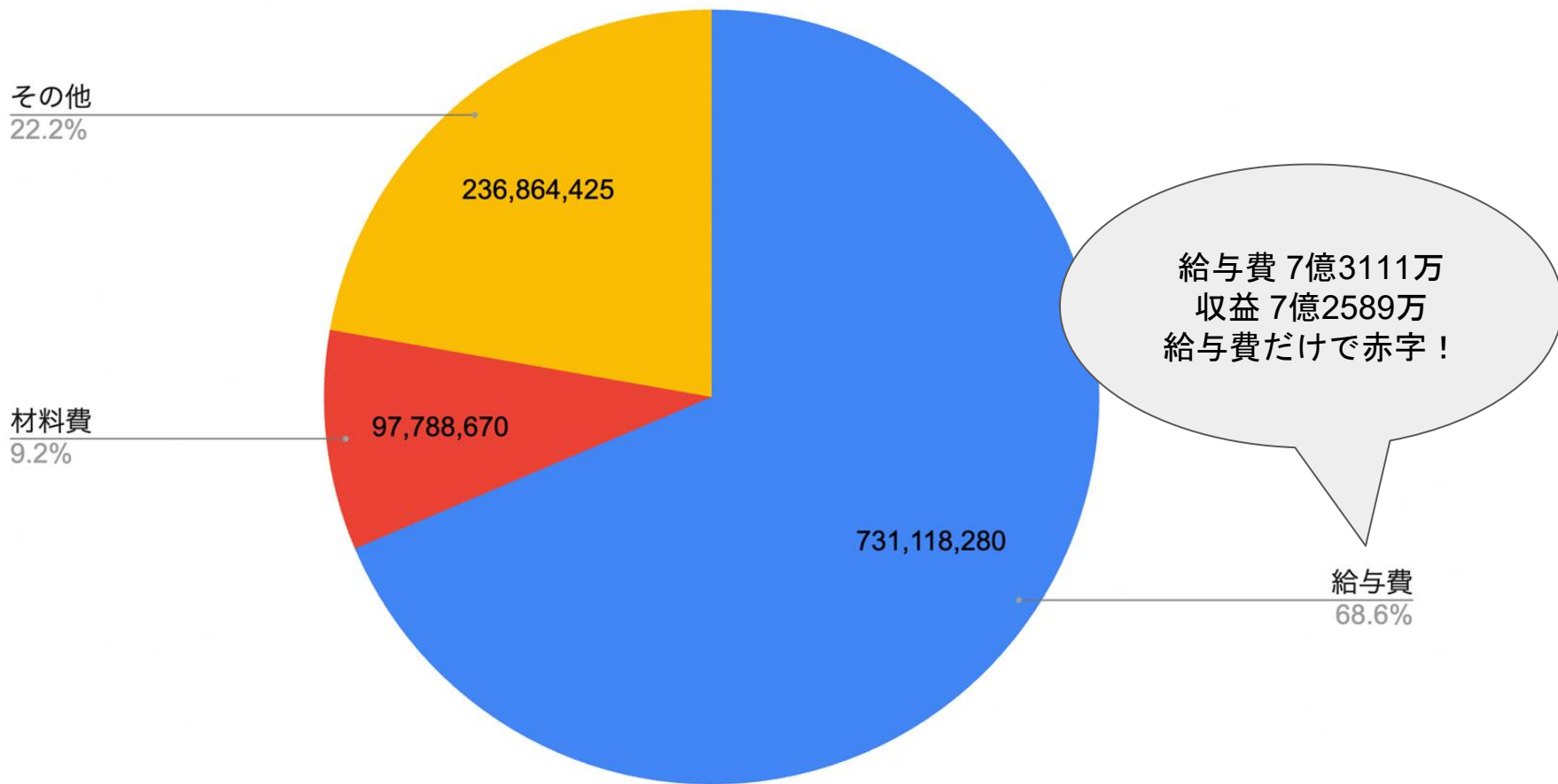


B. 費用の内訳 (2025年度1月末時点) 合計 10億6577万1375円

● 医業費用 ● 訪問看護費用 ● 介護保険費用 ● 居宅介護支援費用



C. 費用の内訳 (目的別、2025年度1月末時点) 合計 10億6577万1375円



どういふことか

- 津南町の医療需要は今後10年で更に減少していく
- 収益、費用とも入院と外来がほとんどを占めている
- 補助金なしでは給与費分も稼げていない



- 町の財政に限界が来れば職員を雇うお金もなくなる
- 過小な人員で回すのは不可能、強制的かつ急激な縮小を余儀なくされる
 - 医療安全を損なう
 - 働き方改革
- 今のうちに、機能を絞っていく必要がある

ありうる事態

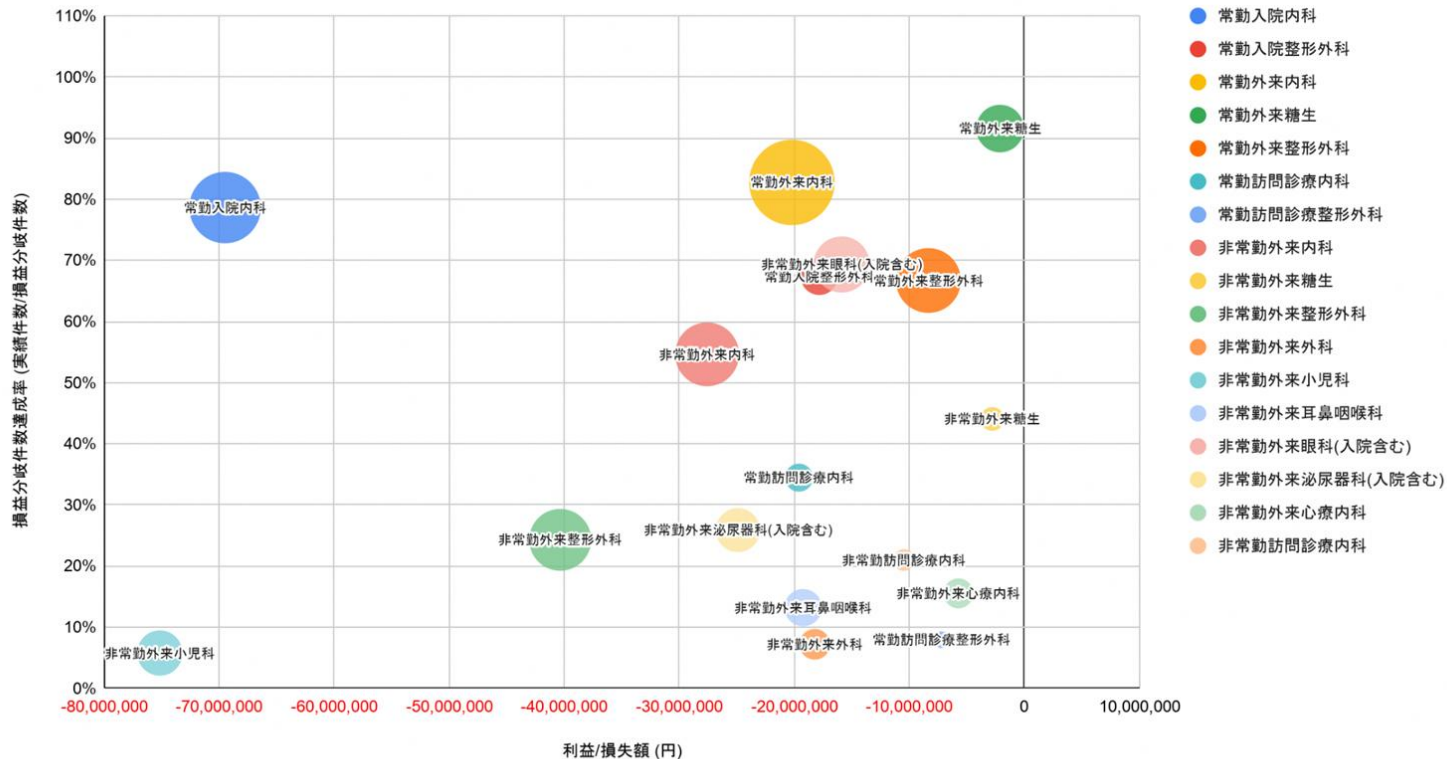
- ・ 来月から病床を閉鎖します
- ・ 明日から救急診療をやめます

③各診療科の収益性分析

非常勤医師外来は損失が大きく、黒字になる見込みも薄い

利益/損失額と損益分岐件数達成率

2025年4月~2026年1月。円の大きさは実績件数を表す



機能削減により確実に削れる額

			削れる額 (医師給与+変動費-収益)	他の固定費
常勤	入院	内科	-¥264,926,974	348,500,468
		整形外科	-¥34,583,048	56,035,551
	外来	内科	-¥88,973,379	113,590,347
		糖生	-¥21,761,662	24,389,538
訪問診療		整形外科	-¥12,931,430	23,125,635
		内科	-¥3,371,341	26,907,053
		整形外科	¥1,868,245	6,772,203
		内科	-¥5,936,554	39,206,881
非常勤	外来	糖生	¥156,726	3,208,775
		整形外科	¥13,209,028	35,373,196
		外科	¥4,613,843	17,276,514
		小児科	¥25,654,461	64,591,427
		耳鼻咽喉科	¥5,243,961	17,874,410
		眼科(入院含む)	-¥20,935,848	40,109,835
		泌尿器科(入院含む)	¥356,719	28,117,795
		心療内科	¥997,125	5,899,447
	訪問診療	内科	¥5,360,587	7,208,432

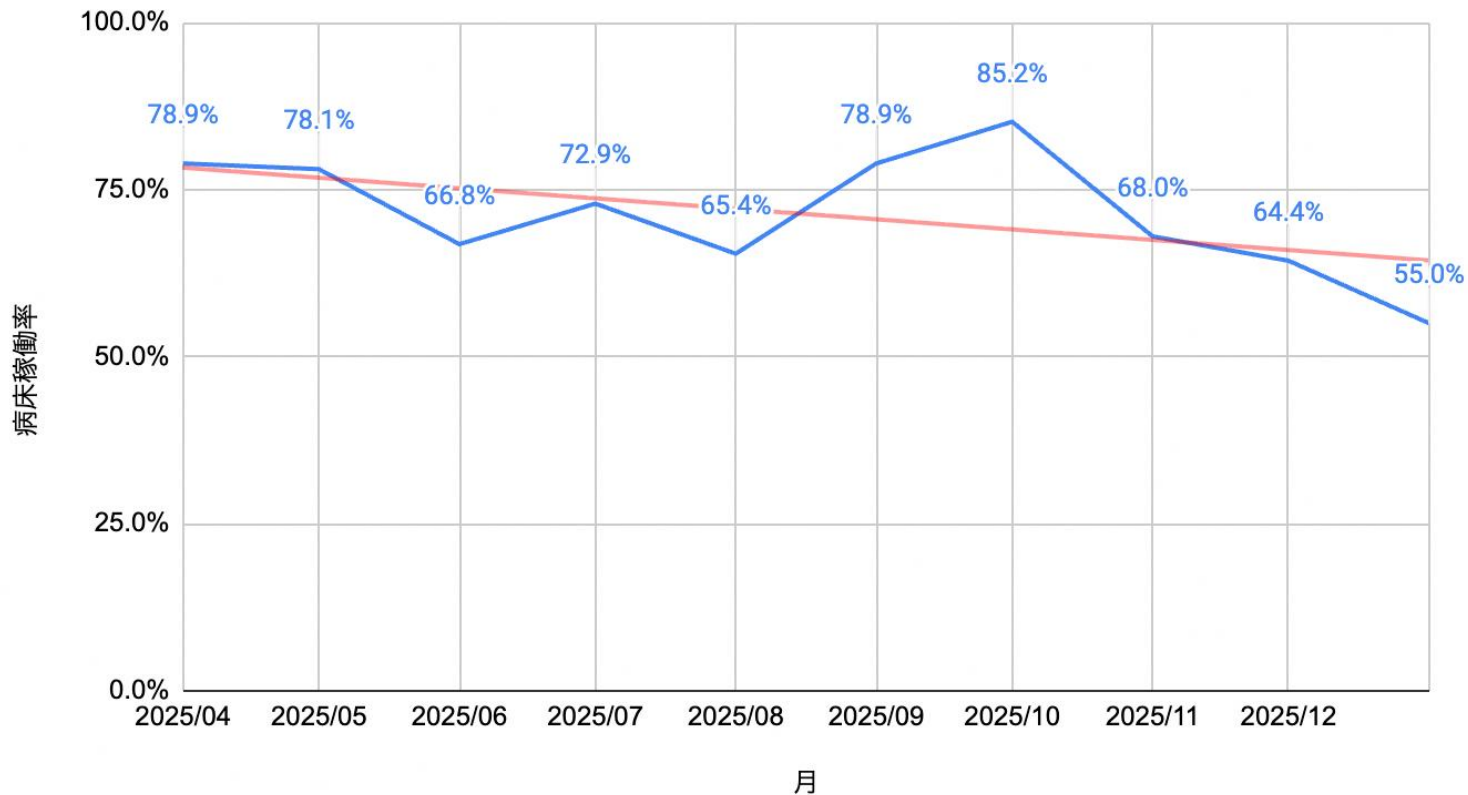
確実に削れる額は合計で5500万円程度と予測される

			削れる額 (医師給与+変動費-収益)	他の固定費
非常勤	外来	糖生	156,726	3,208,775
		整形外科	13,209,028	35,373,196
		外科	4,613,843	17,276,514
		小児科	25,654,461	64,591,427
		耳鼻咽喉科	5,243,961	17,874,410
		泌尿器科(入院含む)	356,719	28,117,795
		心療内科	997,125	5,899,447
	訪問診療	内科	5,360,587	7,208,432
合計			55,592,448	179,549,997

④入院患者の収益性分析

病床稼働率は70%程度で徐々に減少

病床稼働率推移 (2025年度)



病床稼働率が85%になっても年間5500万程度の改善に留まる

稼働率による収益変化のシミュレーション

